

# 東部地域まちづくりを考える会第5回 開催記録

## ■開催日時・場所

令和7年8月17(日) 14:00~16:00  
北谷町保健相談センター 北谷町字桑江731

## ■実施概要

- ・前回ワークショップの振り返り
- ・ご自身の地区の将来像案にて、もっとも気に入った案へ投票を行った。
- ・これまで検討した「取り組み」について、4つの分野に分かれ「だれが」「いつやるか」を検討し、模造紙に貼り付けて「取り組み年表」として整理した

## ■参加者数

20人（宇地原区6人、北玉区5人、謝苅区9人）

## ■ワークショップの様子



## 東部地域まちづくりを考える会第5回 開催記録

### ■ 各地区の将来像への投票結果

	将来像案	投票欄
宇 地 原 区	チャーガンジュー！ ゆんたくと笑顔があふれるまち 宇地原	3
	親水公園で楽しい交流 子ども達の声が聞こえる 安全なまち 宇地原	3
	時間がゆっくりながれる 自然のある 安心安全なまち 宇地原	5
	古いも若きも外国人も 人情あふれる ゆいまーるのまち 宇地原	5
	時空を超える 古くて新しい 持続可能なまち 宇地原	2
謝 苅 区	笑顔あふれる 感謝がつながる 若者に人気のジャーガルヒルズ	10
	皆仲良く 世代の交流ができる ゆがふーのまち 謝苅	5
	おだやかで自然が豊かな 感謝のまち 安心できる居場所 謝苅	5
	若者が活躍できる 次世代につながるずっと住みたいまち 謝苅	7
	皆仲良く 1人1人が認め合えるまち 安心できる居場所 謝苅	0
北 玉 区	『ヤッホ～』 山・川・すーじぐわーから子どもと大人の笑顔 あふれる やまびこのまち 北玉	2
	すーじぐわーからお互いの顔が見える 自然と笑顔があふれる まち 北玉	1
	ちゅいしいじいで築く笑顔 自然がいっぱいのまち 北玉	1
	「北谷村」の風景が残る 自然豊かで地域交流が盛んなまち 北玉	2
	高齢者も一緒に ユイマールで近所づきあい 子どもも大人も 集まるまち 北玉	6

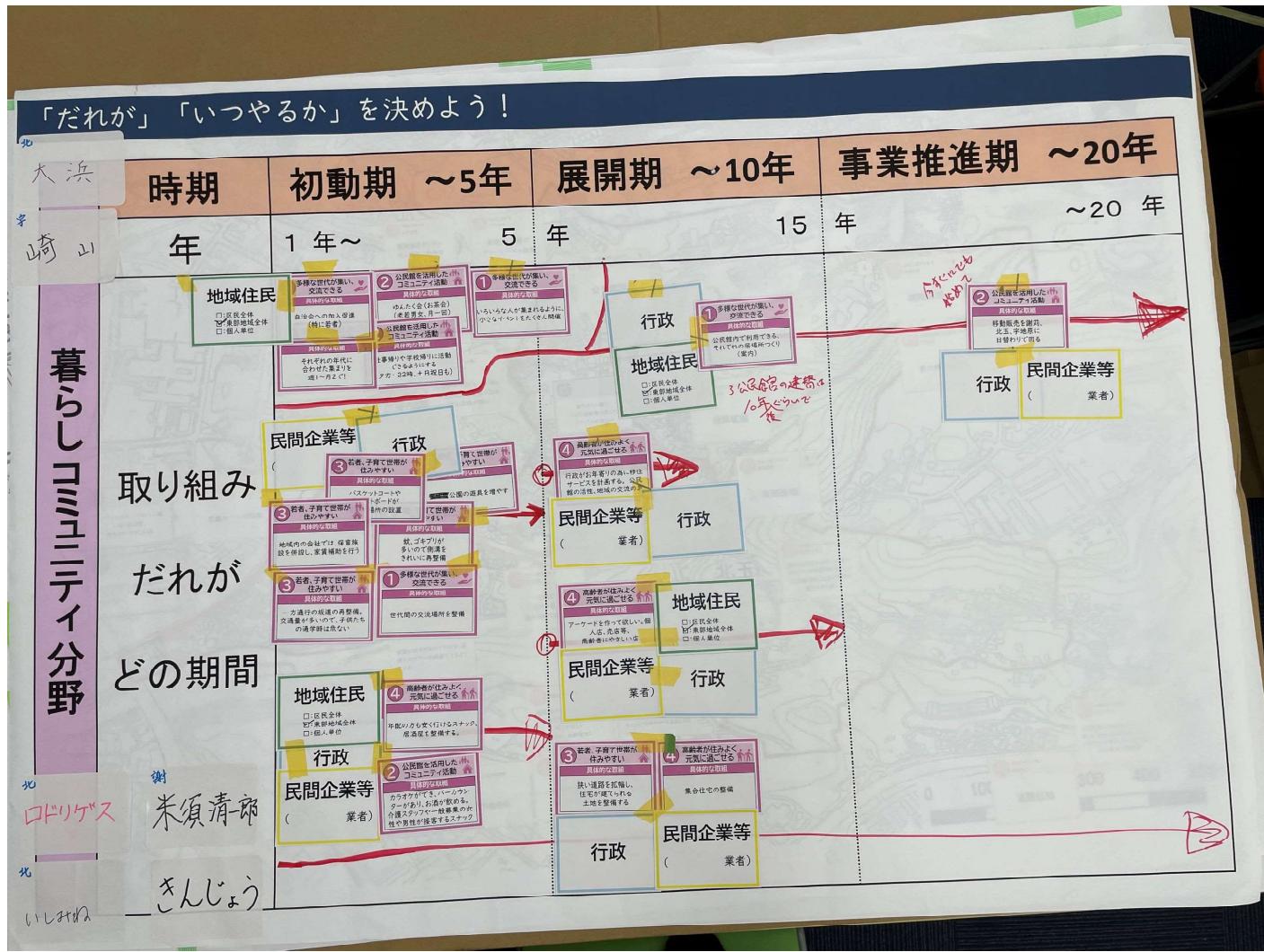


今後の展開として！！

次回のWSにて紹介する「まちづくり提案書（案）」の中で、上記の投票結果をふまえ、将来像を提案します！！！

## 東部地域まちづくりを考える会第5回 開催記録

## ■ 取り組み年表のワーク結果（暮らしコミュニティ）



## ■ワークの様子

## • 5名参加

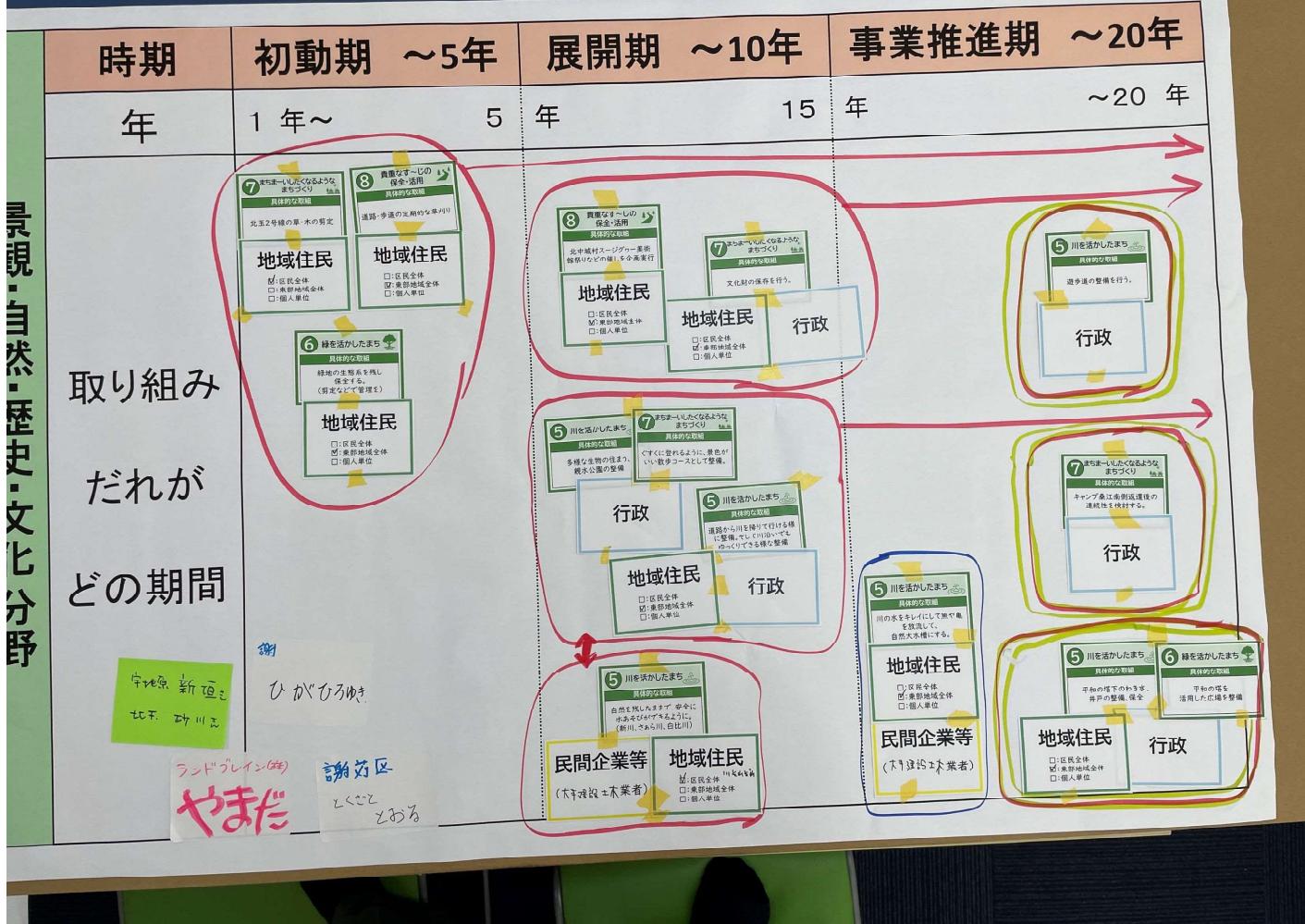
・住民同士の繋がりを意識した交流会やイベント企画、地域を住み良くする施設整備から、高齢者に寄り添う取り組みへの展開を検討しました。



# 東部地域まちづくりを考える会第5回 開催記録

## ■取り組み年表のワーク結果（景観・自然・歴史・文化）

それが」「いつやるか」を決めよう！



## ■ワークの様子

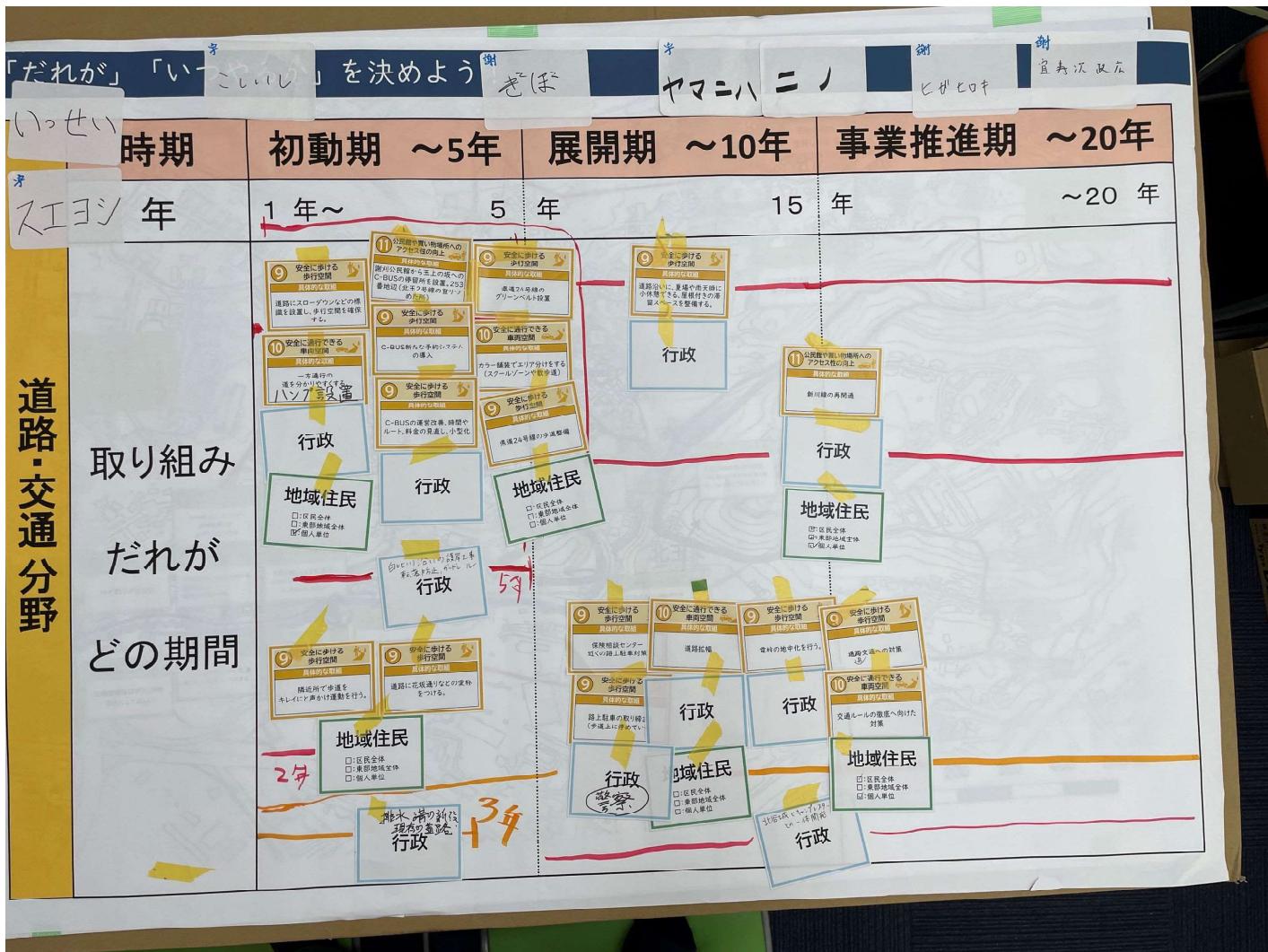
- 4名参加

・地域の草刈りや剪定など、小さな取り組みを進めて、段階的に地域の自然を活かしたイベントや公園整備へ発展させる検討がなされました。



# 東部地域まちづくりを考える会第5回 開催記録

## ■取り組み年表のワーク結果（道路・交通）



## ■ワークの様子

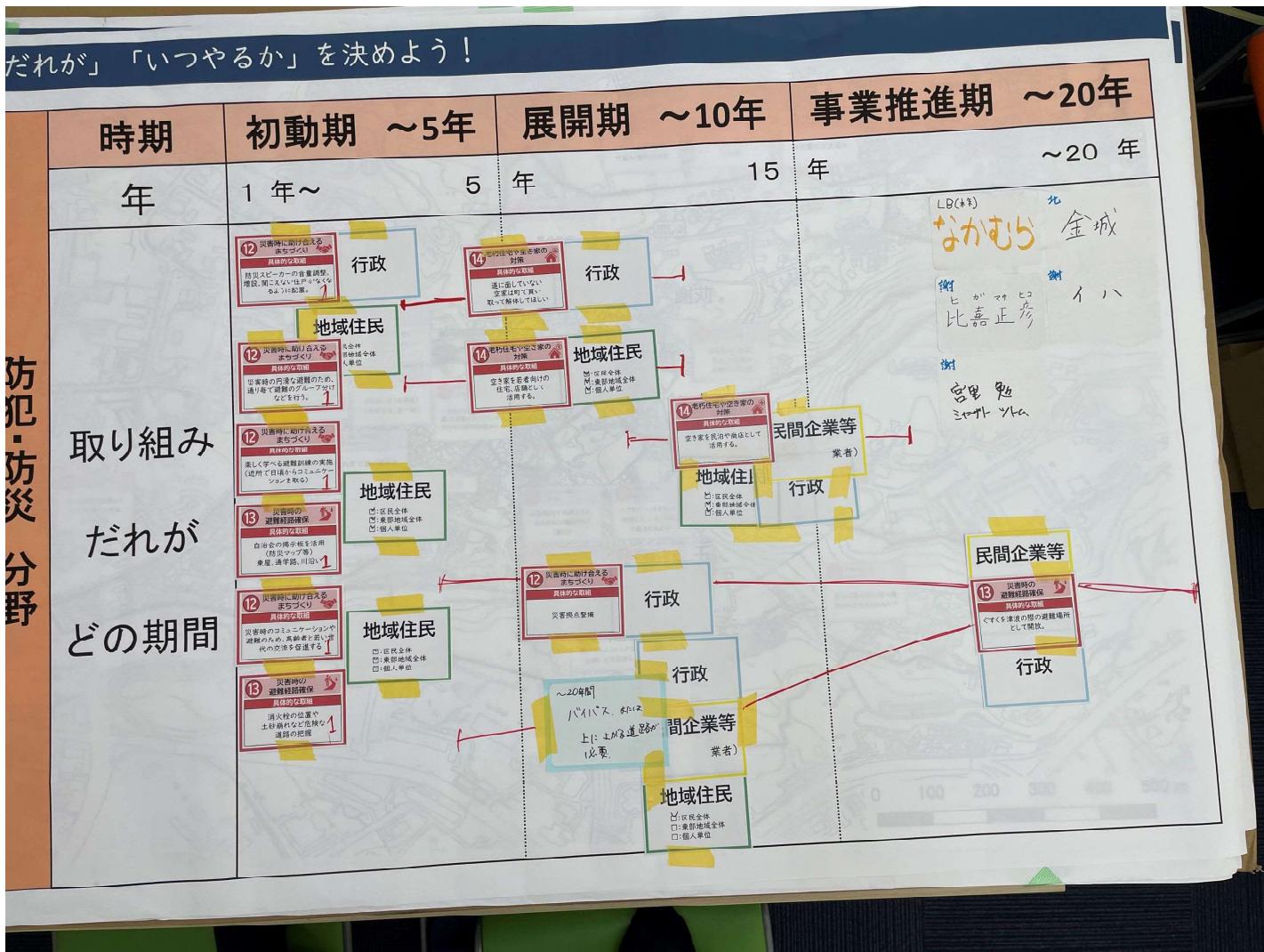
・7名

・主に「道路のハンプ」設置などに対して、積極的に設置したいなどの意見が多く、地域の安全を考えた取り組みの展開が検討されました。



# 東部地域まちづくりを考える会第5回 開催記録

## ■取り組み年表のワーク結果（防犯・防災）



## ■ワークの様子

・4名参加

・始めに住民の皆で行うべき取り組みを検討し、徐々に行政や民間企業と連携して進める空き家などの取り組みへ展開する検討を行いました。



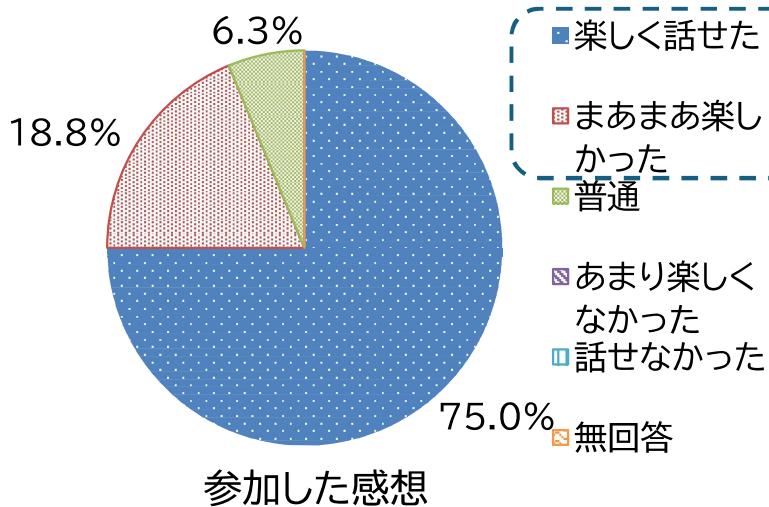
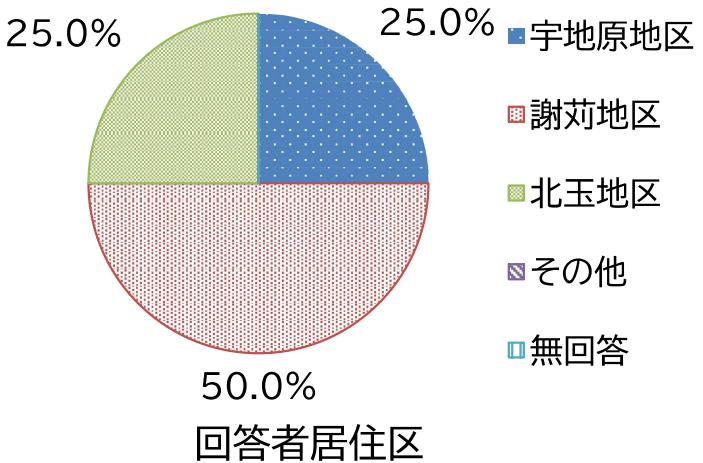
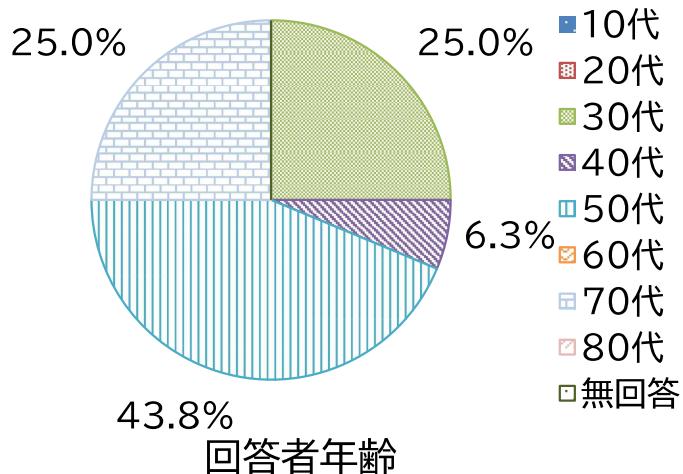
# 東部地域まちづくりを考える会第5回 開催記録

## ■参加者アンケート回収状況

(参加者数) 20人

(回答者数/回収率) 16人 / 80.0%

## ■アンケート結果概要



### 自由意見(抜粋)

- 昼間の開催だけでなく、夜の開催も検討してほしい。
- 若年層や子供の参加がもっとあればと思います。
- 道路のハンプ設置を目的に活動を始めたい。
- 三区の中から希望者でチームを作りたい。
- 年齢が高いので、地域の草刈りや環境整備にむりがあるし、働き世帯も少なくなっているし、地域の活動に参加がむずかしい。
- 道路＆環境の整備もしながら、住宅の立ち退き案内もあってよいと思う。

- 各分野に分かれての話し合い、他区の方とも話が出来たことで、いろいろと勉強になりました。
- グループ全員が熱心に話していたため。
- 活発な意見交換ができた。
- いろんな考え方等を聞くことができた。協働のまちづくりに前向きに取り組んで行けると感じた。